

令和7年度 化学・高分子コロキウム卒業記念講演会

兼田(中島)加珠子 先生 (大阪大学 放射線科学基盤機構 教授)

大型中性アミノ酸の核医学治療への応用を目指した研究

2026年 3月4日 (水) 15時10分から, D501大講義室

核医学治療薬は、注射一本でがん治療を行えるため侵襲性が低く、診断と治療を同時にできるセラノスティクスの実現ができる唯一の薬剤です。兼田先生はがん細胞に特異的に高発現するアミノ酸トランスポーターに高選択性を持つアミノ酸誘導体を見出し、学内で製造可能な短寿命アルファ線放出核種であるアスタチン211を大型中性アミノ酸へ標識することで核医学治療薬として応用できることを示しました。現在は化合物の構造展開と適応がん種のスクリーニングを進めています。



令和7年度 化学・高分子コロキウム卒業記念パーティ

2026年 3月4日 (水) 17時00分から, カフェテリア「らふおれ」